

東京聖書学校が目指すコンピテンシー（能力・行動特性）

1. 東京聖書学校の教育方針 (Policies)

①アドミッション・ポリシー

福音主義教会に受洗後1年以上属する者で、忠実に教会生活をなし、召命を受けて伝道者になるにふさわしいと認められ、所属教会の主任担任教師および役員会より推薦された者であることを要する（参照：校則第23条）。

②カリキュラム・ポリシー

所定の課程を修めるほか、原則として全寮制による信仰的訓練を受け、日々礼拝あるいは祈祷会を守りまた随時聖会等に参加するものとする。

学生は各自派遣教会において忠実に教会生活をなし、伝道および教務に奉仕する義務を負う。また夏期伝道その他随時各地の教会において、教会実習を修了しなければならない（参照：校則第6・7条）。

③ディプロマ・ポリシー

聖書の福音主義の信仰に立ち、ウェスレアン・アルミニアン神学と新生・聖化・神癒・再臨の四重の福音の伝統を継承し、特に聖書の聖潔・体験的ホーリネスを強調し、福音の伝道に従事する実践的伝道者の養成を目的とする（参照：校則第3条）。

2. 東京聖書学校が目指すコンピテンシー（能力・行動特性）

①召命と献身

- (1)教会の中で霊的な生活を養われ、教会（＝キリスト）に献身している。
- (2)神からの伝道者への召命を確信し続けており、それを証しすることができる。
- (3)教会のミニストリーへの召命を自覚し、必要な訓練のために献身している。
- (4)献身者の訓練のなかで、自分の信仰経験や霊的成長を語るができる。
- (5)伝道者として自分を変えられていると自覚し、さらには変えられることを願っている。
- (6)神からの召命が教会のメンバーおよび本校の教授会から認められる者となっている。
- (7)日本基督教団、そしてホーリネスの群の伝道者とされる召命が明確になっている。

②プロフェッショナル（専門職）

I. 霊的生活

- (1)教会の公の礼拝をささげ、説教と聖餐によって養われている。
- (2)共同の祈りによって養われている。
- (3)聖書の通読、祈り、霊的書物、賛美など恵みの手段によって養われている。
- (4)聖霊のバプテスマによる全き聖化の恵みに養われている。
- (5)メソジスト・ホーリネスの信仰にふさわしい倫理によって養われている。

II. 神学の学修

- (1)聖書が正典であり、神の言葉であるとの聖書信仰に立って教会に仕えることができる。

- (2)聖書の全体および各巻の構造を理解し、聖書神学を用いて教会に仕えることができる。
- (3)教会の教理を理解し、組織神学を用いて教会に仕えることができる。
- (4)教会の歴史を理解し、歴史神学を用いて教会に仕えることができる。
- (5)教会の実践を理解し、実践神学を用いて教会に仕えることができる。
- (6)ウェスレアン・アルミニアン神学を理解し、それを用いて教会に仕えることができる。
- (7)教会の諸課題に応じて、それにふさわしい神学的な判断や解決をすることができる。

Ⅲ. 教会のミニストリー

- (1)日本基督教団の信仰告白を告白し、神学的にその内容を理解している。
- (2)四重の福音によって、日本基督教団の信仰告白を解釈し、教えることができる。
- (3)ホーリネスの群の教理、歴史、信仰（四重の福音）を理解し、教えることができる。
- (4)日本基督教団の教憲教規を理解し、ホーリネスの群を位置づけることができる。
- (5)公同の福音的な教会としてホーリネスの群の教会を導き、仕えることができる。
- (6)聖書の救いと伝道の目的を理解し、その方策を修得し、洗礼へと導くことができる。
- (7)福音的な教会、伝道団体、キリスト教学校との協力伝道に協力することができる。
- (8)教会に集うあらゆる世代への信仰教育を行うことができる。

③ パーソナリティ

- (1)神に愛され受容されている自己を認識し、受容している。
- (2)情緒的なバランスがとれている。
- (3)成熟した、誠実で、高潔な人格者である。
- (4)適切な自信と謙遜を身につけている。
- (5)身体的精神的な持久力、強健力、回復力を身につけている。
- (6)成長していく潜在的な可能性がある。

④ コミュニケーション

- (1)傾聴力、読解力、記述力、説得力、思考力、創造力を身につけている。
- (2)注意深く、ふさわしい言葉を選び、語りあうことができる。
- (3)多様性を尊重しつつ、ふさわしい仕方で聖書的神学的に信仰を表明することができる。
- (4)キリスト教信仰について、論理的に説明することができる。
- (5)伝道のための有益なコミュニケーション技術を身につけている。

⑤ リーダーシップ

- (1)教会におけるサーバントリーダーシップを身につけている。
- (2)教会の霊的リーダーとして礼拝、役員会等を導いていくことができる。
- (3)教会のミニストリーに責任をもって進めていくことができる。
- (4)教会員と信頼関係を築きながら、協働してミニストリーを進めることができる。